

高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業支援計画の策定について

国の新しい動き

1 地域福祉法等の一部改正に伴う介護保険法の改正（令和2年6月12日公布）

- ① 国及び地方公共団体の責務に関する事項
 - ・ 保険給付に係る施策等を包括的に推進するに当たっては、共生する社会の実現に資するよう努めること
- ② 認知症に関する施策の総合的な推進等に関する事項
 - ・ 国及び地方公共団体は、認知症の予防等に関する調査研究の推進並びにその成果の普及、活用及び発展や認知症である者への支援体制の整備等の施策を総合的に推進するよう努めること
- ③ 市町村が地域支援事業を行うにあたり必要な情報を活用し、適切かつ有効に実施するよう努めること
- ④ 介護保険事業計画の見直しに関する事項
(市町村介護保険事業計画)
 - ・ 都道府県と連携した介護職員の確保及び資質の向上並びにその業務の効率化及び質の向上に資する事業
 - ・ 認知症に関する施策の総合的な推進に関する事項
 - ・ 有料老人ホーム及びサ高住のそれぞれの入所定員総数について定めるよう努めるとともに
 - ・ 市町村の区域における人口構造の見通しを勘案して作成されなければならない。(都道府県介護保険事業支援計画)
 - ・ 介護職員の業務の効率化及び質の向上に資する事業に関する事項
 - ・ 有料老人ホーム及びサ高住のそれぞれの入所定員総数について定めるよう努めること

2 基本指針案の提示（令和2年7月27日）

- ・ 介護保険部会における「介護保険制度の見直しに関する意見」を踏まえて、第8期計画において記載を充実する事項が提示。
 - ① 2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備
 - ② 地域共生社会の実現
 - ③ 介護予防・健康づくり施策の充実・推進（地域支援事業等の効果的な実施）
 - ④ 有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化
 - ⑤ 認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進
 - ⑥ 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化
 - ⑦ 災害や感染症対策に係る体制整備

3 認知症施策推進大綱の制定（令和元年6月18日制定）

- ・ 認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進する認知症施策推進大綱が令和元年6月に制定。

現状及び 2025 年・2040 年の状況（推計）

※2025 (R7) 年・2040 (R22) 年を見据えた、今後 3 年間の計画とする必要がある

① 本県の将来推計人口の推移

- ・ 65 歳以上人口は 2020 (R2) 年頃にピークを迎える見込み
- ・ 介護ニーズの高い 75 歳以上人口は 2030 (R12) 年頃、85 歳以上人口については、2035 (R17) 年頃にピークを迎えると推計されている。

（括弧内は人口に占める割合、塗りつぶしは人口ピーク時）

| | 2019 (R1) | 2020 (R2) | 2025 (R7) | 2030 (R12) | 2035 (R17) | 2040 (R22) |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 65歳以上人口 | 334 千人(32.3%) | 340 千人(32.8%) | 337 千人(33.8%) | 331 千人(34.7%) | 328 千人(36.0%) | 335 千人(38.8%) |
| 75歳以上人口 | 175 千人(16.9%) | 178 千人(17.2%) | 208 千人(20.9%) | 214 千人(22.4%) | 205 千人(22.5%) | 195 千人(22.6%) |
| 85歳以上人口 | 61 千人(5.9%) | 64 千人(6.2%) | 69 千人(7.0%) | 78 千人(8.2%) | 96 千人(10.6%) | 95 千人(11.0%) |
| 現役世代人口 | 581 千人(56.2%) | 578 千人(55.8%) | 553 千人(55.5%) | 526 千人(55.1%) | 492 千人(54.1%) | 443 千人(51.3%) |

※R1 は県人口移動調査、R2 以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（都道府県別）2018 年推計」

② 高齢者の一人暮らしや夫婦のみ世帯が増加

（括弧内は世帯数に占める割合、塗りつぶしは世帯数ピーク時）

| | 2015 (H27) | 2020 (R2) | 2025 (R7) | 2030 (R12) | 2035 (R17) | 2040 (R22) |
|-------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1人暮らし | 40 千世帯 (10.2%) | 46 千世帯 (11.8%) | 50 千世帯 (12.7%) | 52 千世帯 (13.6%) | 54 千世帯 (14.5%) | 58 千世帯 (16.0%) |
| 夫婦のみ | 49 千世帯 (12.5%) | 53 千世帯 (13.5%) | 53 千世帯 (13.6%) | 52 千世帯 (13.5%) | 51 千世帯 (13.6%) | 53 千世帯 (14.5%) |

※H27 は国勢調査、R2 以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（都道府県別）2019 年推計」

③ 要介護・要支援認定者が増加

| | R2.3 月 | R7 | R22 |
|---------|----------|----------|-----|
| 要介護認定者数 | 62,657 人 | 71,747 人 | 集計中 |
| うち重度者数 | 23,338 人 | 26,364 人 | 集計中 |

※R2.3 月は介護保険事業報告、R7 は第 7 期計画策定時における保険者推計。現在、第 8 期計画における見込数を推計中

④ 認知症高齢者の増加 H26:約 5 万人→R7:約 6.7 万人 → R22:約 9.0 万人

※平成 26 年度富山県認知症高齢者実態調査

⑤ 介護費用と保険料の増加

- ・ 総費用（全国） H12:3.6 兆円→H30:10.7 兆円、R7:15.3 兆円程度、R22:25.8 兆円程度
- ・ 保険料（全国） H12:2,911 円 →H30:5,869 円、R7:7,200 円程度、R22:9,200 円程度
（R7・22 年は国試算値。本県見込みは各保険者が今秋にかけ試算予定）

本県の地域特性を踏まえた現状分析

1 高齢層における要介護認定率（要介護1以上）が全国平均以上

- 本県では、全国と比べて、80歳以上の要介護1・2の階層の割合が高く、新規の要介護申請において、要支援ではなく要介護1・2の状態認定を受ける割合が高い。
 - ⇒ 要介護1・2の80歳以上の認定者が全国平均を上回り増加していることから、地域リハビリテーション活動の充実や、「通いの場」等へ支援、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施等の推進など、要介護状態になる前の効果的な介護予防活動の実施を支援する。
- 重度者について、重度認定率（年齢調整後）は改善しているが（全国順位 H27：7位→R1：12位）、依然として全国平均を上回っており、更新申請時に重度認定を受けている割合も高い。
 - 要介護1・2の認定を受けて介護サービスを利用開始するが、認知症、脳血管疾患などの悪化等により、特に85歳以上になって重度化している傾向がある可能性が考えられる。
 - ⇒ 自立支援型のケアマネジメントの強化や認知症の医療・介護体制の充実など自立支援・重度化防止の取組みを強化する。

2 施設サービスの利用率が全国上位クラス（全国順位 H27：5位→R1：8位）

- 要介護4・5の施設サービス利用率が全国平均を上回っている一方で、在宅サービスの同階層の利用率は下回っており、重度者の在宅ニーズを施設サービスで代替している傾向が見られる。
 - 一方で、近年の在宅・地域密着型サービスの増加に伴い、在宅サービスの利用率が全国上位クラス（全国順位 H27：24位→R1：11位）となるなど、在宅の利用も進んでいる。
 - ⇒ 住み慣れた地域で自立した在宅生活の維持や重度化防止のための、高齢者のニーズを的確に捉えた在宅サービス基盤の充実を支援する。
 - あわせて、介護サービス基盤の整備に不可欠な介護人材の確保や業務の効率化に取り組む。

3 人口減少時代における介護人材の確保

- 介護ニーズの高い75歳以上、85歳以上人口が、今後20年間に於いて急速に増加することが見込まれるなか、介護サービスの担い手となる現役世代の減少が顕著となり、地域の高齢者介護を支える人的基盤の確保が必要。
 - ⇒ 地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保に向けて、市町村と連携した介護職場の魅力発信、外国人材の受入れ環境の整備、介護職員の処遇改善などに取り組むとともに、今後、人的制約が強まる中、ケアの質を確保しながら必要なサービス提供が行えるようにするため、業務の効率化及び質の向上に取り組む。